

大阪市長 “9条改憲必要”

専守防衛も「考え直す時期」

日本維新の会常任役員
の吉村洋文大阪市長

は20日、市役所での記者会見で、「日本の国防は本当に専守防衛で守れるのかを考える時期にきている」と述べ、憲法9条の「改正」が必要だとの認識を示しました。

吉村氏は、緊迫する北朝鮮情勢を念頭に「憲法9条があれば平

和だという神話は崩れている」「平和ほけしている場合ではない」

などと述べ、9条「改正」を論議すべきだと主張。「憲法9条（の『改正』）については時期尚早だというのが維新の正式な見解だが、『それでいいのか』と

次の戦略会議で僕から提案したい」とも語り、党の政策協議の会

議で問題提起する考えを示しました。

同党の松井一郎代表（大阪府知事）は21日、府庁で記者団に「今すぐ9条を発議することは時期尚早だ」と述べつつも、「憲法審査会で（9条）『改正』に向けた」中身の議論はしっかりとやるべきだ」と話しました。